

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開

研究課題名	脳波解析による急性脳症の早期診断
所属科	神経科
研究責任者	浜野晋一郎
研究期間	2014年12月11日～2018年3月31日
研究概要	<p>小児の急性脳症は、後天性脳障害の主要な原因の一つであり、その早期診断は後遺症を軽減するうえで重要である。しかし、急性脳症の発症早期には頭部MRI／CTおよび血液・髄液検査で異常を認めない場合が稀ではないため、早期診断は容易ではなく熱性けいれんとの鑑別は困難である。本研究で通常の診療で行う標準10-20電極法で記録した脳波検査のデジタルデータを再利用し、通常行う波形のアナログ判読ではなく、デジタルデータの定量的解析を行い急性脳症の早期診断に有効であるかを検討する。通常の診療で行う脳波記録のデジタルデータをフーリエ変換後、各脳部位の脳波パワーを計測し、変換した脳波データの二次解析（脳波コヒーレンス）を行い、脳機能を定量的に評価する。初診時で急性脳症・脳炎の鑑別対象となる、けいれん発作・意識障害を主訴としたてんかん重積、熱性けいれん群を対照とし、急性脳症群と比較することにより早期診断の有効性を検討する。</p> <p>なお、本研究は、鳥取大学医学部 脳神経小児科講座（前垣義弘教授）を代表とする多施設共同研究で、当センターの他に鳥根県立中央病院、松江赤十字病院、津山中央病院、鹿児島大学医学部附属病院、九州大学医学部附属病院、鳥根大学医学部附属病院の6施設が参加、脳波、症例データはともに匿名化した症例番号を付与したのちに提供・供与する。特に年齢、性、画像所見、血液・髄液・尿検査データ、臨床診断と経過などの臨床情報は姓名や生年月日、患者IDなどの個人情報を含まない症例調査票に記載し利用する。</p> <p>患者および家族は、研究に参加することを断る権利を有し、断ったことによる不利益は一切存在しない。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	症例登録するにあたり、データセンターは固有の匿名符号を付与し、研究事務局では対象症例氏名・カルテ番号は管理せず保管しない。本研究は当院倫理委員会の承認をすでに得ている。
研究の問合せ先	埼玉県立小児医療センター内研究責任者：浜野 晋一郎 埼玉県立小児医療センター 神経科 〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 2100 番地 TEL: 048-758-1811
結果の公表について	個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表する。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はない。